

Fukuro 第5号

けやき・こぶし学級 2学期末懇談会資料

2学期も、御家庭での御支援、ありがとうございました。ご家庭で見守ってくださったおかげで、生徒は、個々のペースで学習や活動を進めていくことができました。今後も生徒達のスモールステップの成長を大切にして学習指導・支援をしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

1. 2学期のけやき・こぶし学級の様子

教科等の学習

けやき・こぶし学級共に、支援計画や指導計画を基に合理的配慮事項を踏まえて、一人一人に合った形態や内容で学習や活動を進めています。

行事

2学期は様々な行事がありました。それぞれの生徒に実施内容について伝え、参加の意思や可能な関わり方などを確認しながら、オンラインで視聴を行ったり、集団から少し離れた場所から見学したり、それぞれの形で行事に関わりました。

・体育祭・生徒会役員選挙・合唱コンクール・けやき祭・キャリア学習（1年生：洋画家実技指導・高校生の講話、2年生：職業人講話） など

○けやき学級の様子

1年生も学級に慣れてきた2学期。総合や学活の時間に交流級に入って学年のみんなと活動できました。体育祭では学年種目の練習に。合唱ではHRのたびに歌の練習に。学年の仲間と関わることでコミュニケーションスキルを身に付けていく手助けになっていることと思います。

2学期から始めたことはホームルーム中の「いいとこみつけ」と「1分間スピーチ」です。いいとこみつけのきっかけは、お互いの名前を憶えていないこと、自分以外の人が何をしているのか知らない、気にならないことが分かったからです。人は一人では生きていけません。進路開拓においても助け合ったり、情報をつかんだり、観察していったりすることが必要になります。そのためにも、視野を広げる意識付けをしていきたいと思っています。1分間スピーチを始めたきっかけは、とにかくニュースは見ない！知らない！という生徒が8割。やはり、社会に出てからの困り感が少しでも解消されるような仕掛けや声掛けをしていきたいと思ったからです。そして、困り感言えば、食事のマナーです。1年生はグロースクールに向けて、2年生は修学旅行に向けて、交流級のみんなと食事をする機会が増えていきます。お茶碗の持ち方や口に食べ物を含んだままおしゃべりしない等、基本的なマナーが身に付くように見守って支援していきたいと思っています。

学習面では、始業前に教科書・ノート等、学習用具を準備して、授業に臨む習慣が定着しています。学習中、少しずつですがお互いに言葉を交わしながら、一緒に取り組んだり、分からないところを聞き合ったりする姿が見られました。定期テストのペースもつかめてきたのではないのでしょうか。後期になり、時間割を見直してから1か月が経ちました。けやき学級では、生徒に合わせたペースで学習を進めていますが、改めて学習の様子についてご家庭でも話題にあげていただき、振り返りを行っていただければと思います。

○こぶし学級の様子

2学期は、「体育祭」や「合唱コンクール」などたくさんの行事があり、生徒達は、交流学級に行って参加するようにしています。また、こぶし学級で同じ活動内容を少人数で進めている生徒もいます。

行事が「楽しみ」という生徒もいれば、「大勢の前が不安」「運動や表現が苦手」「日常のペースではなくなり落ち着かない」という生徒もいます。誰でも初めてのことや慣れないことをするのは、緊張するものです。こぶし学級でも1年生は、「中学校の体育祭、合唱コンクールってどんなだろう」とドキドキしながら手探りです。2年生は、少し慣れて「今年は、こうしたい」という意思や目標が生まれます。そして、3年生は、後輩にアドバイスをしたり、最後の行事ということで特別な思いを抱いたりする頼もしい姿が見られます。

生徒達は、行事を通して準備、練習、仲間とのコミュニケーションを重ね、たくさんの力をつけています。それがのちに、社会に出た時に通ずる力につながっていきます。今後も3年間という長いスパンで生徒達を見ていき、確実な成長につながるよう支援していきたいと思っています。

こぶし学級では、自立活動の時間に生活のリズムや生活習慣の形成を目指した学習を行いました。心の安定を目指してヨガを行ったり、コミュニケーション手段の選択と活用を目指してRPG（ロールプレイング）を行ったりしました。特に2学期はコミュニケーションスキルの習得を目指して授業を行ってきました。RPGでは「話の聞き方」、「相手の気持ちを思いやった言葉のかけ方」「仲間への誘い方」などの授業を行いました。ポイントを意識したゲームを行い、RPGでは生徒が台本を考え、役を演じることで登場人物の気持ちについて気付き、皆で振り返りを行いました。授業後の学校生活の中でも自立活動で学んだポイントをよく活用してくれるので、学級内の会話や一緒に遊ぶ姿が増えています。自立活動の授業では、今後も生徒の日常生活の困り感に寄り添い、不安などを解消していただけるように計画していきたいと思います。また、自立活動の時間が生徒にとって楽しい時間であることを今後も心掛けていきたいと思います。

2. 進路について

中学の3年間はあっという間に過ぎてしまいます。そのため、中学卒業後やその先にどうしたいかを考え進路選択をし、その目標に向かって力をつける必要があります。

3年生は、志望校によっては、11月に出願や試験があるところもありました。一般的に私立高校や公立高校は、12月から願書の準備をして1～3月には試験があります。

1・2年生も進路について御家庭でお子さんと早めに話し合っておきましょう。

(参考)

高校種	公立高校	私立高校	特別支援学校高等部
課程	全日制・定時制	全日制・通信制	全日制
設置学科	普通科・英語科・理数科・情報処理科など様々		普通科・専門学科
入試	一般入試 (5教科試験・3教科試験 ・面接・作文等)	一般入試・推薦入試 (5教科試験・3教科試験 ・面接・作文等)	一般入試 (小学校の内容の 4教科試験)

3. 冬休みの過ごし方について

どの生徒も2学期は、自分の目標を立てて頑張りました。冬休みはクリスマスやお正月などの楽しい行事もあります。冬休みはゆっくり休んで、リフレッシュする期間にしてください。また、社会に出た時や自立した時のことを考え、家事などの“自分で生活する力”をつけることが重要です。時間がある冬休みに、家事の手伝いや大掃除、行事の準備・片付けなどをお子さんにも是非経験させてください。

いつもこぶし・けやき学級へのご理解ご協力ありがとうございます。今後も保護者の方と連絡・相談を密にし、学校と家庭での様子を相互に理解しながらそれぞれの生徒の個性に寄り添って、指導支援を進めてまいります。御協力よろしくお願いいたします。